



東京藝術大学

藝大プロジェクト 2023

仮面——隠されたもの、顕れたもの 第1回

『陵王 (Ryo-Oh)』 舞楽 (日本)
 『水宮野遊 (Suyeong Yaryu)』 タルチュム (韓国)
 『トペン・パジエガン (Topeng Pajegan)』 トペン (インドネシア)



舞い、謡う。仮面のマジマ

2023 | 10 | 21 SAT 15:00 開演 (14:15 開場)

入場料 3,000円 (全席自由)

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。
 ※観覧前のお子様のお同伴・入場はできませんので、ご了承ください。
 ※車椅子をご利用のお客様は、ヴォートル・チケットセンター
 TEL: 03-5355-1280 (平日10:00~18:00)までお問い合わせください。
 ※感染症対策につきましては、最新情報をホームページ等でお知らせしておりますので、
 ご来場の前にご確認ください。

| 主催 | 東京藝術大学演奏芸術センター・東京藝術大学音楽学部
 | 助成 | 東京藝術大学澤和樹学術研究基金

■■■チケット取り扱い (8/23(水) 発売 ※藝大アートプラザは8/26日(土)販売開始) ■■■

ヴォートル・チケットセンター <https://www.ticket.votre.co.jp>
TEL: 03-5355-1280 / 平日10:00~18:00

チケットぴあ <https://t.pia.jp> 《Pコード:250-094》
東京文化会館チケットサービス <https://www.t-bunka.jp/tickets>
TEL: 03-5685-0650 / 10:00~18:00 (休館日を除く)
店頭販売: 10:00~19:00 (休館日を除く)

イープラス (e+) <https://eplus.jp>
藝大アートプラザ (店頭販売のみ) TEL: 050-5525-2102 / 10:00~18:00 (月・火曜休、他臨時休業日を除く)

■■■■お問い合わせ■■■■

東京藝術大学演奏芸術センター TEL: 050-5525-2300
東京藝術大学ホームページ <https://www.geidai.ac.jp>



藝大プロジェクト2023

仮面 — 隠されたもの、顕れたもの 第1回 舞い、謡う。仮面のアジア

毎年特定のテーマを設け、藝大ならではの多角的視点からアプローチを試みる意欲的な企画「藝大プロジェクト」。今年のテーマはずばり「仮面」です。2回シリーズのうち第1回にあたる今回は、アジア各国から選りすぐられた三つの仮面芸能を、ミニレクチャーとともに楽しみいただきます。

古今東西、仮面はその土地における宗教や祭祀の儀礼で使用されるのみならず、美術や演劇、音楽といった芸術の諸分野においても、それをモチーフとした魅力的な作品が多く作られてきました。「顔を覆う」という一見不自由極まりない制約から、人は想像力を駆使し、豊穡な世界を生み出してきたのです。

新型コロナウイルスによって、あらゆる活動に制約が課されたこの数年。鬱屈した思いを、その象徴的存在であるマスク(=仮面)に託して、いざアジアの深淵へ!

楠田 健太 (東京藝術大学演奏藝術センター准教授)

仮面 — 隠されたもの、顕れたもの 第2回

語り、交わる。仮面のヨーロッパ

2023.11.25(土) 15:00開演(14:15開場)

「パルナッソスの山のいただき」

入場料 3,000 円

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

演出: 光瀬名瑠子 出演: 東京藝術大学学生 ほか

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

■ JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、
東京メトロ千代田線根津駅
より徒歩10分

■ 京成線京成上野駅、
東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅
より徒歩15分

※駐車場はございませんので、
お車でのご来場はご遠慮ください。



植村幸生 Yukio Uemura

ナビゲーター

1963年横浜市生まれ。東京藝術大学大学院修了。在学中に韓国ソウル大学に留学。専攻は韓国を中心とする東アジアの音楽史と民族音楽学。一方で学生時代からジャワのガムランの演奏・教育活動にも従事した。著書『アジア音楽史』(共編著、1996)『韓国音楽探検』(単著、1998)『民族音楽学12の視点』(共著、2016)ほか。現在、東京藝術大学音楽学部楽理科教授。



新谷恵 Megumi Niidani

舞楽(日本)

広島県呉市出身。三浦進氏に筆楽の手ほどきを受ける。東京藝術大学音楽学部邦楽科舞楽専攻卒業。在学中に芝祐靖氏より合奏指導を受ける。現在同大学非常勤講師。筆楽、左舞を宮内庁式部職業部東儀雅季氏に師事。東京楽所の一員として国内外の公演に参加。現在は後進への指導とともに雅楽装束師としても活動し、宮内庁式部職業部の国内外の演奏に衣装方として随行するなど、雅楽文化の継承のために多方面にわたり活動を広げる。



野護元 Moriyuki Shimeno

舞楽(日本)

大分県出身。横笛演奏は芝祐靖氏に師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科舞楽専攻にて、横笛、左舞、古代歌謡、琵琶、鼓類などを修め卒業。藝大在学中に安宅賞、卒業時にアカンサス音楽賞、同声会新人賞の各賞を受賞。NHK・Eテレ「にっぽんの芸能 多彩な笛の世界」放送回で舞楽の横笛を紹介した他、国立劇場公演、東儀秀樹コンサートなど国内外の公演、テレビ放送に多数出演。舞楽演奏団体「伶楽舎」所属。



ウリチュム研究会(水宮野遊保存会) タルチュム(韓国)

釜山市水宮には、かつて水軍の基地が置かれ、独特な民俗芸能がいくつも継承されてきた。その一つである仮面劇、水宮野遊は、1971年に国家指定重要無形文化財に認定され、「水宮野遊保存会」がその保存継承にあっている。ウリチュム研究会は、この水宮野遊保存会に属し、無形文化財履修者および伝授教育生に指定された演技者たちが結成した公演団体であり、本公演のためにメンバー13名が来日する。



ニョマン・スダルサナ Nyoman Sudarsana

トベン(インドネシア)

1966年7月23日にギャニール県バトゥアン村で生まれる。祖父はバリ舞踏の名手ニョマン・カクル、父も著名な踊り手のイ・クトゥット・カントールである。7歳のころ祖父、父、叔父たちに踊りを習い始め、バリ舞踏のなかでもトベン、ガンブーといった古典を習得した。地元はもちろんバリ島各地の寺院や家々の儀式に招かれて踊ることが多い。ヨーロッパやサウジアラビアでの海外公演の他、2004年からの日本滞在中には日本のガムラングループと共に活動した。



イ・コマン・ガラシ・ウイドウニヤナ I Komang Galang Widnyana

トベン(インドネシア)

2001年9月25日、ギャニール県のバトゥアン村で生まれる。祖父は著名な踊り手のイ・クトゥット・カントール。バリ伝統芸能一家のなかで育ち、中でも楽器バリガムランの演奏を得意とする。現在は、ISI(インドネシア芸術大学)デンパサール校の器楽科に在籍し、頻繁にバリ島各地のガムラングループと共にイベントや大会、フェスティバルなどに参加している。2023年のPKB(バリ芸術祭)ではギャニール県の女性ガムランの指導をし、また数々の演目に参加している。



ガムラングループ「シダカルヤ」

トベン(インドネシア)

ガムラン演奏家皆川厚一をリーダーとして活動するバリ・ガムラン演奏グループ。主としてバリ島留学経験者を中心に在日バリ人演奏家を含めたメンバーで構成される。バリ・ガムランの古典曲、20世紀の創作曲、舞踊曲などを演奏する。今回の出演者は皆川厚一、イ・プトゥ・グデ・スティアワン、イ・クトゥット・スアルダナ、濱元智行、川村亘平斎、若林康明、安谷絵里、藤崎聡美、安田冴。

